

問1 心理職として、心理検査の実施における倫理的側面について次の点に触れながら述べなさい。

- ・インフォームド・コンセント
- ・結果のフィードバック
- ・守秘義務

問2 下記の文章の(①)～(⑩)にあてはまる語句をそれぞれ解答欄に記入しなさい。

- (1) 心理検査の投影法の例としては、1920年にスイスで作られた左右対称のインク・ブロット図版10枚からなる(①)テストや、マーレー(Murray.H.A)による絵画についての空想的物語の内容から性格を診断する(②)などがある。  
また、描画による投影法として、スイスの心理学者コッホ(Koch.k)の(③)テストや、マコーバー(Machover.K)の人物画テスト、アメリカのバック(Buck.J.N)の開発したHTPテストなどがある。このHTPのHは日本語で(④)のことである。
- (2) 1890年にロシアの生理学者(⑤)は、犬にベルの音と唾液の分泌を結合させる条件付けの実験を行った。この条件づけを『古典的条件づけ(またはレスポナント条件づけ)』という。  
ソーンダイク(Thorndike.E.L)は、ネコを入れる問題箱で試行錯誤学習に関する実験を行ったが、(⑥)はこの実験を発展させて、改良した箱(研究者の名前をとって(⑥)箱と呼ばれる)に、(⑦)やハトを入れ、ある特定の反応に対して報酬を与えることで、その行動を増やす条件づけを行った。この条件づけを『(⑧)条件づけ』という。
- (3) 一般に、2種の異質な領域が視野内に同時に存在する場合、現象として、いずれか一方が浮かび上がり、他方はその周囲の空間であるかのように体験される。ルビン(Rubin.E)が名づけて以来、浮かび上がる方は(⑨)、もう一方は(⑩)と呼ばれて区別されている。観察を続ける際、この2つが確定せずに入れ替わる図形を(⑨)(⑩)反転図形と呼ぶ。

問3 次の(1)～(4)のうち2つを選択し、それぞれを簡潔に説明しなさい。  
(選択した番号を解答欄の□の中に記入すること。)

- (1) ホメオスタシス
- (2) 選択的注意
- (3) 二重拘束 (ダブルバインド)
- (4) ラポール

問4 次の(1)～(3)のうち1つを選択し、解答しなさい。  
(選択した番号を解答欄の□の中に記入すること。)

- (1) フロイトの自我防衛機制について、自我機能が果たす役割と抑圧に触れながら説明しなさい。そして抑圧以外の防衛機制の例として「反動形成」「合理化」について説明しなさい。
- (2) 記憶の二重貯蔵モデルについて説明しなさい。
- (3) 心理学における研究法の基本的な一つである観察法について、観察法全般の定義を説明しなさい。また、観察法の代表的分類とそれぞれの定義・概念と特徴についても説明しなさい。